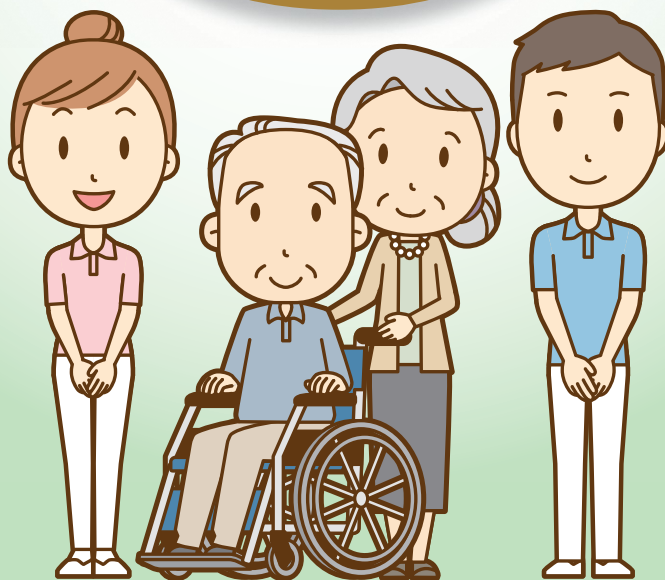


平成30年度

がんばる 介護事業所 表彰



要介護度の維持改善や雇用環境の改善に取り組む
富山県内の介護事業所等を紹介します

「がんばる 介護事業所表彰」とは…

高齢者の自立支援や尊厳の保持に資する良質な介護サービスの提供や、
介護職員の意欲向上につながる
人材育成の充実・職場環境の改善などに積極的に取り組み、
他の模範となるような顕著な成果を出している介護事業所等を表彰し、
これを広く周知することにより、
介護サービスの質の向上や介護人材の安定的確保を図るものです。

(平成28年度創設)

以下の2部門を設定し、それぞれ該当する事業所等を表彰しています。

要介護度維持改善部門

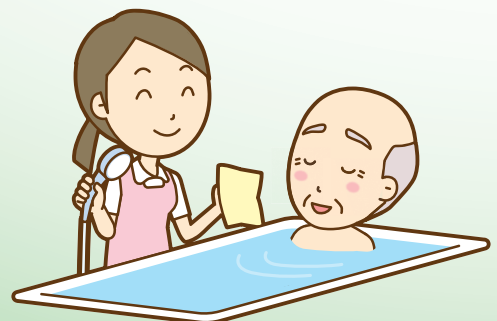
県内で下記サービスを提供する介護保険施設・事業所

- ◎介護老人福祉施設（地域密着型を含む）
- ◎介護老人保健施設
- ◎通所介護（地域密着型を含む）
- ◎認知症対応型通所介護
- ◎訪問介護
- ◎訪問入浴介護
- ◎夜間対応型訪問介護
- ◎定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- ◎特定施設入居者生活介護
- ◎認知症対応型共同生活介護
- ◎小規模多機能型居宅介護
- ◎看護小規模多機能型居宅介護

- 【取組み例】**
- ◎ 利用者の状態に合わせた個別訓練メニューの作成により、身体機能改善者が増加
 - ◎ 外部研修で得た知識や技能を共有し、チームで継続的に取り組んだことにより、褥瘡発生者が減少
 - ◎ 地域の行事や活動への参加促進により、昼夜逆転者が減少
- など

平成30年度受賞事業所等一覧

事業所名	所在地
特別養護老人ホームかがやき	高岡市
ふしき苑デイサービスセンター	高岡市
福寿会北部定期巡回センター	南砺市



表彰式

平成30年12月22日（土）
 「平成30年度地域包括ケア推進県民フォーラム」
 （於：ホテル グランミラージュ）にて



雇用環境部門

県内で高齢者福祉サービス又は障害(児)者福祉サービスを提供する法人又は事業所

- 【必須条件】
- ① 労働基準法等、法令に沿った就業規則の整備
 - ② 労働基準法など労働関係法令、その他法令について過去3年間無違反
 - ③ 処遇改善加算Ⅰの届出
 - ④ 開設から5年以上

- 【取組み例】
- 新人職員の指導担当者に対する独自の内部研修の実施
 - 看護休暇・介護休暇の設定など育児、介護を両立できる取組みの実施
 - 職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護ロボット等の導入
 - ICTの活用による職員の負担軽減や業務省力化
 - 職員表彰制度の導入
- など

平成30年度受賞事業所等一覧

事業所名	所在地
医療法人社団アスカ	氷見市
社会福祉法人海望福祉会	魚津市
社会福祉法人マーシ園	南砺市



要介護度維持改善部門

社会福祉法人高岡南福祉会

特別養護老人ホームかがやき

所在地 高岡市オフィスパーク 3番

サービス 介護老人福祉施設

電話 0766-30-2028

URL <http://harukaze-takaoka.or.jp/publics/index/18/>

評価のポイント

- ★利用者の望む生活の実現に向けた丁寧なアセスメントの実施
- ★多職種が連携した協議による個別ケアの実施
- ★新たに配置した専門家（理学療法士）の視点を踏まえた機能訓練の実施

利用者の望む生活に応じた多職種連携による個別ケア

取組みを始めた背景・経緯

利用者やその家族が、人生や生活に「諦め」の気持ちを持って入所されることが多いと感じたことから、入所しても、これまでの生活ややりたいことを継続・実現していただくための利用者本位のケアに取り組みました。

取組みの特徴・成果

入所時に家族から生活や趣味など利用者の思いを聞き取ったうえで、介護職、医師、看護職、理学療法士、管理栄養士、ケアマネジャー、生活相談員等の多職種が話し合う場を設け、思いを実現させるためのケアプランを作成しています。



【取組例】

乗り物による
旅行が好き！

重度の褥瘡
離床・食事時間が短時間



- 本人の希望(旅行)を叶えるため、離床時間を長くする
- 医師・看護師・栄養士等が連携した褥瘡ケア
- 座位保持クッションの活用
- レクリエーション時の座位保持訓練

褥瘡が完治

安楽な座位保持により離床時間が大幅に増加

他の利用者とおしゃべりがしたい！

糖尿病により身体機能が低下し、寝たきり



- 身体機能を改善させ、会話の機会を増やす
- 医師の指示に基づく食事療法や服薬管理
- 会話好きの利用者と同席

血糖値が改善・安定し、褥瘡が完治

離床時の会話時間が増え、日中の活動が活発に

自分で歩きたい！

認知症・難聴・心不全
孤立し寝たきり

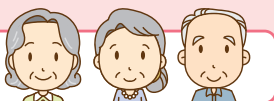


- 安全・安楽に歩行できる
- 理学療法士が選んだ適切な歩行器による訓練
- 会話の機会を増やすため、こまめに訪室

自力での立ち上がり動作がスムーズに

行動範囲が拡大し、他者との交流が盛んに

3人に共通の
思いは…



遠出をして美味しいものを食べたい！

平成30年6月に新幹線で金沢へ小旅行を実現

要介護度維持改善部門

社会福祉法人伏木会

ふしき苑デイサービスセンター

所在地 高岡市伏木国分1-10-10

サービス 通所介護

電話 0766-44-7887

URL <http://www2.tcnet.ne.jp/fusikien/service3.html#通所>

評価のポイント

- ★ 外出支援の経験を活かした新幹線旅行の実施
- ★ 利用者への意欲喚起による身体機能やQOLの向上、生活の活性化の実現

あこがれの新幹線旅行を実現、身体機能も向上

取組みを始めた背景・経緯

建設促進の運動が始まってから50年近く経ち、心待ちにしていた北陸新幹線が平成27年3月に開通しましたが、利用者に「ついに乗ったよ！」という方はほとんどいらっしゃいませんでした。

「新幹線に乗ってみたいなあ」「元気なうちに新幹線に乗りみたいなあ」との利用者の声をお聞きし、北陸新幹線に乗って小旅行をする企画を立ち上げました。

取組みの概要・特徴

平成29年8月から、社会参加型の機能回復に向けた取組みの一環として、新幹線旅行を実施しています。

新幹線に乗って金沢駅へ！有名料理店で昼食やお土産選び、記念撮影など旅行気分を味わっていただくための取組みを行っています。

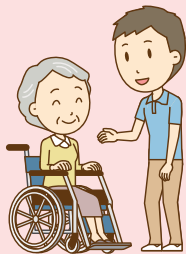


特に工夫したこと・苦労したこと

平成16年から外出支援として続けてきた、少人数参加型の夕食レクリエーションのノウハウを新幹線旅行に活用しています。

① 少人数での旅行

- 一人ひとりの要望に応えるため、同行職員が1対1で対応しています。



② 短時間での旅行

- 利用者負担の少ない旅行の時間を5～6時間と想定し、無理のないスケジュールを組んでいます。

③ 事前の準備

- 事前に職員が車椅子を押して現地を視察し、観光スポットや通路、トイレの場所、移動時間を確認しています。
- 駅員の方には、駅内の誘導や新幹線の乗降車時のサポートをお願いしています。
- 飲食店には、車椅子の許可や、高齢者が食べやすい調理をお願いしました。



取組みの成果

参加者の楽しい様子が伝わったことで、新幹線旅行を目標とした機能訓練の参加人数が1.5倍に増え、そのうち35%の方に筋力アップが見られました。

社会参加への目標が、日頃の機能訓練への意欲的な取組みに繋がりを、目標に向けて日々活力を持って行動することが、今後の人生を充実させるための最も重要な要因であると再認識しました。



要介護度維持改善部門

社会福祉法人福寿会

福寿会北部定期巡回センター

所在地 南砺市松原678-1

サービス 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

電話 0763-23-3650

URL http://fukuju.jp/institution/list/fukujyuen/post_3/

評価のポイント

- ★ 中山間地域における、介護・看護の両面からのアセスメントを踏まえた24時間365日の在宅生活支援
- ★ 地域資源を活用した、地域ぐるみでの課題解決

24時間365日中山間での在宅生活をサポート、地域ぐるみで課題を解決

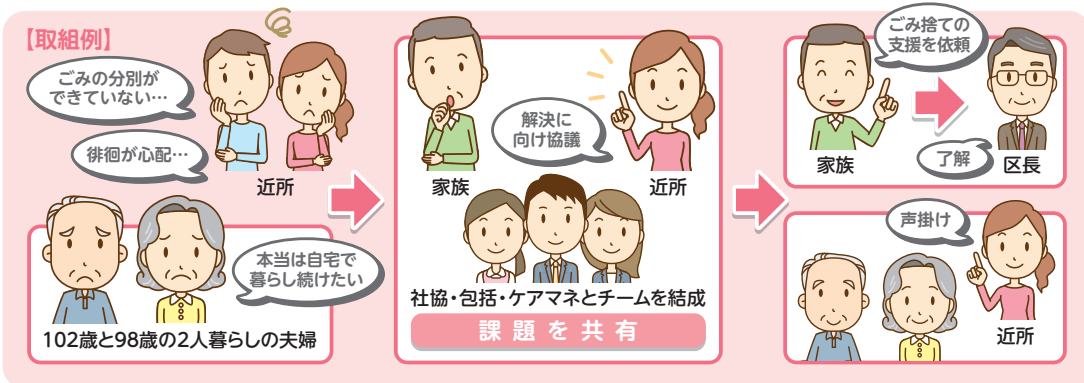
取組みを始めた背景・経緯

認知症の独居高齢者や高齢夫婦のみ世帯の方の「本当は住み慣れた自宅で暮らし続けたい」との声を受けて、地域住民の方と話し合う場を設けたところ、「火事になったらどうする」「24時間365日守れるのか」などの声が上がっていたことから、定期巡回サービス事業者としてどのように地域づくりに貢献できるか考えました。

取組みの特徴・成果

中重度の高齢者を支えるには、地域の「互助力」が不可欠であり、社会福祉協議会や地域包括支援センター、ケアマネジャー等でチームを結成し、「どうしたら自宅で住み続けられるか」を家族や地域住民の方と話し合う合同会議を開催しました。

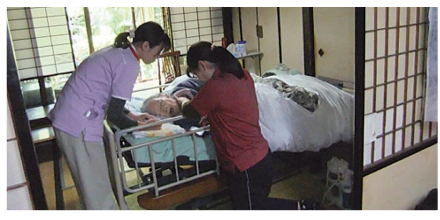
その結果、地域の課題を共有することができ、直接、家族や区長、民生委員の方に相談することによって、ゴミ捨てなどの協力を得られるようになるなど、課題が解決されました。



特に工夫した点

事業所での自己評価により、介護職は健康状態のアセスメントが不得手であることが明らかになったことから、モニタリングの際に訪問看護師を同行させ、その視点を学ぶ取組みを進めました。

その結果、介護職が利用者の健康状態に関して訪問看護師に相談しやすくなったことで、情報交換が密になり、平成28年からの2年間で6件の自宅看取りを行うことができました。



訪問看護師と介護福祉士が二人で訪問し状態を観察

医療法人社団アスカ

所在地 氷見市柳田2011-2

サービス 介護老人保健施設

電話 0766-91-5355

URL http://www.drshiraishi.or.jp/elder/elder_top.html

評価のポイント

- ★先輩社員による指導制度の導入や資格取得支援制度の充実による人材育成
- ★管理職へのマネジメント研修の実施による職場環境整備

指導制度や資格取得支援を充実、介護未経験者を多数育成

取組みを始めた背景・経緯

以前、職員不足で苦しんだ時期があり、多くの人が入職してくれて、人が育ち、モチベーションをもって働ける、魅力のある職場を作ろうと考え、職場環境の整備に取り組みました。

取組みの概要・特徴

3年ほど前から介護未経験者を多く採用し、先輩職員が熱心に指導する体制を充実させました。また、本人のキャリアを考えて必要な資格取得、研修参加を積極的に推進し、実務者研修への奨学金制度（資格取得後2年以上勤務で返済免除）などの資格取得支援も進めています。

さらに、時間有休導入による有給・介護休暇の取得推進、多職種協働によるチームワークの向上、管理職の対話能力や人材育成能力向上のための定期的なマネジメント研修の実施等により、休みの取りやすい、風通しの良い職場づくりに努めています。



特に工夫したこと・苦労したこと

4年前から「選ばれ続ける施設づくり活動」を継続しており、「お客様視点」「チームワーク」「研鑽」の3つの価値観を全員で共有し、部門ごとに自主的に改善活動に取り組むことで、チームワークやモチベーションの向上を図っています。

また、年に一度、職員への意識調査を実施しており、44項目から職員の仕事に対する姿勢を評価し、スコアの低い項目や結果の変化を参考に、不足している項目に対して早期改善に努めてきました。

取組みの成果

意識調査における職員満足度の上昇に比例して、入職希望者が増え、退職率も低下しました。介護未経験者も確実に成長し、仕事の中核を担うまでになっています。

そして、H30年8月には、若い人を積極的に採用し育て上げ、かつ管理体制もしっかりしている会社と与えられる「2018年度ユースエール認定企業」に認定されました。（県内で7番目、氷見市で初めて）



社会福祉法人海望福祉会

所在地 魚津市仏田3468
サービス 介護老人福祉施設
電話 0765-22-8808
URL <http://www.kaiboufukushi.com/>

評価のポイント

- ★職員の資質向上に向けた研修支援や人材育成に向けた制度の充実
- ★ICTの活用による記録業務に関する残業ゼロの実現
- ★育児・介護の両立に向けた積極的な環境整備

ICTを活用したシステムを導入、記録業務残業ゼロを実現

取組みを始めた背景・経緯

より良いサービスを提供するには、職員を安定的に配置し、職員自身も心身にゆとりを持ち、やりがいを感じながら長く働くことのできる環境をつくるのが大切です。海望福祉会では、すべての職員が仕事と家庭を両立しながら、いきいきと働ける職場づくりのための取り組みを積極的に進めています。

取組みの概要・特徴

総合施設長が職員一人ひとりと面談することで、課題の早期解決や目標管理に繋がっています。また、職員の資質向上のための研修参加を推進しており、外部講師による「福祉プロ養成研修」では、正職員・非常勤職員を問わず参加できる体制を整えています。

平成22年から協議を重ね、ICTを活用した独自の介護記録システムを開発・導入したことで、記録業務時間は1日トータル4時間削減され、記録のための残業ゼロを実現しました。1回あたり60分かかっていた朝夕の申し送りも、1回あたり10分に大幅短縮されました。

また、行政機関と連携し、働く意欲があるのに働きづらい状況にある方（障害者や生活困窮者等）に対して、就労支援や法人雇用を行う「ユニバーサル就労」も推進しています。



特に工夫したこと・苦労したこと

職員の年齢構成や職種、家庭環境等を踏まえ、職員一人ひとりと対話しながら、多様なシフトの導入や育児休業復帰後の働き方の変化への対応、短時間正職員制度など、柔軟な勤務体制の整備を行いました。

取組みの成果

職員一人ひとりの声を聴きながら、職場環境の改善や勤務体制の整備をしたことで、法人が職員のことを思いながら制度を実現させていることが伝わり、職員もまた、法人運営のことを思いながら協力的な行動をしてくれています。相互に相手を思い合う関係性を築けたことこそ、この取り組みの成果であったと感じています。



社会福祉法人マーシ園

所在地 南砺市谷142

サービス 障害者支援施設

電話 0763-82-6000

URL <http://www.mercy-en.or.jp/>

評価のポイント

- ★福祉機器の導入や腰痛予防研修の実施による職員の負担軽減
- ★資格取得に対する手当や結婚・出産祝金などの充実によるモチベーションアップ

福祉機器導入や腰痛予防研修の実施による職員の負担軽減

取組みを始めた背景・経緯

マーシ園では、職員の高齢化や除雪作業等により、介助職員の7割が腰痛を持ち、女性職員による移乗介助が難しい状況でした。また、腰痛が職員の身体的・精神的負担となり、離職要因にもなっていました。

取組みの概要・特徴

平成16年に療護施設マーシ園木の香を新築し、最新の特殊浴槽を導入したのを機に、介護場面や対象者に応じた福祉機器を積極的に導入しました。平成24年には、浴室改修を機に天井走行リフト等も導入しています。

その他にも、法人内にノートパソコンを計57台配備し、障害福祉サービス支援統合ソフトを導入、専用サーバーでデータ入出力を一元管理することにより、業務省力化を図っています。また、40歳未満が106名中29名(27%)と若手職員も多いため、定着して働いてもらえるよう、資格取得手当や結婚・出産祝金等の制度も充実させています。



特に工夫したこと・苦労したこと

福祉機器導入当初は、使用方法など利用者・職員の認識も低く、かえって時間がかかったり、事故につながりかねない事例もありました。そこで、富山県の腰痛予防指導者育成研修を受講し、園内で伝達講習を行い、利用者に合った使用方法を学ぶことで、より安全で負担の少ない介助を行えるようになりました。

取組みの成果

福祉機器導入後の職員アンケートでは、腰痛改善率は8割を超えており、「負担のかからない姿勢を知りたい」など、自身の身体状態を知ろうとする意識が高まり、職員間で腰痛等の身体状況を情報共有して、職員同士助け合うことができるようになり、働きやすい職場環境になりました。

今後も、慣れや油断が事故につながることを忘れず、日々の安全点検をきちんと行い、利用者が安全で安心して過ごせるよう、取り組んでいきたいと考えています。



〈参考〉過去の受賞者 平成29年度

【要介護度維持改善部門】

サービス	事業所名	取組概要
介護老人 福祉施設	特別養護老人ホーム 射水万葉苑 (射水市)	<ul style="list-style-type: none"> 十分な水分摂取、義歯調整、歩行や座位姿勢の練習 積極的なトイレ誘導などへの継続的取組み オムツの使用しない人の割合や普通食の摂取率を高水準で維持
	特別養護老人ホーム 梨雲苑 (富山市)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔ケアの実施により誤嚥性肺炎の入院者ゼロ 普通食の摂取率を高水準で維持 全ユニットへのユニットリーダーの配置
介護老人 保健施設	魚津老人保健施設 (魚津市)	<ul style="list-style-type: none"> 通常のリハビリメニューとは別に「フロアリハビリメニュー」を実施 定期的な口腔ケアの研修会や経口維持カンファレンスの実施 在宅復帰率60%以上
通所介護	砺波市北部 デイサービスセンター (砺波市)	<ul style="list-style-type: none"> 外部の専門職と連携した個別訓練計画の作成 スタッフ全員で計画的に機能訓練を実施

【雇用環境部門】

法人・事業所名	取組概要
社会福祉法人中新川福祉会 (舟橋村)	<ul style="list-style-type: none"> 職員の希望に沿うような研修機会や資格取得の支援の充実 リフレッシュ休暇制度の設定 介護機器の導入等による職員の業務の省力化や腰痛予防
社会福祉法人早川福祉会 (高岡市)	<ul style="list-style-type: none"> キャリアサポート委員会の設置 資格取得のための経済支援の充実 永年勤続表彰や育成面接の実施 柔軟な勤務体制等による職員のモチベーションアップ



平成28年度

【要介護度維持改善部門】

サービス	事業所名	取組概要
介護老人 福祉施設	特別養護老人ホーム あんどの里 (魚津市)	<ul style="list-style-type: none"> ・その人らしい最期の時間を過ごせる環境づくり ・誤嚥性肺炎の予防のため、刻み食・ミキサー食の廃止、口腔ケアの実施 ・褥瘡ケアの実施
	特別養護老人ホーム ながれすぎ光風苑 (富山市)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の好みに合わせた飲料の提供による水分摂取量向上 ・積極的なトイレ誘導などによるおむつ使用率の減少
	特別養護老人ホーム 二上万葉苑 (高岡市)	<ul style="list-style-type: none"> ・嘱託医や管理栄養士との連携による経口摂取への移行 ・歩行器による別フロアへの移動見守り（車いす利用者の歩行訓練）
介護老人 保健施設	介護老人保健施設 みどり苑 (富山市)	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄アセスメントシートによる排泄状況の把握 ・独自の嚥下食の作成 ・継続的なりハビリ等により在宅復帰率50%以上を確保
通所介護	デイサービスセンター はるかぜ (高岡市)	<ul style="list-style-type: none"> ・「出来ることは自分で」という意識への転換 ・メニュー表から選択できる食事の提供 ・利用者の趣味・経験を活かしたクラブ活動

【雇用環境部門】

法人・事業所名	取組概要
社会福祉法人宣長康久会 (富山市)	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修の公募制 ・意欲のあるパート職員の正職員への登用 ・出産、子育て、ハラスメント等何でも相談できる窓口の設置
社会福祉法人ひみ福祉会 (氷見市)	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成委員会設置による課題整理やマニュアル整備 ・研修参加を積極的に推進 ・介護機器等の導入による腰痛対策
社会福祉法人舟見寿楽苑 (入善町)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが1歳6か月まで利用できる育児休業制度の整備 ・施設外の第三者が入った検討会議の定期的な開催
(社会福祉法人梨雲福祉会) 特別養護老人ホーム梨雲苑 (富山市)	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得のための外部研修を勤務扱いとし、資格取得を支援 ・事業所内託児施設の設置 ・タブレット端末などICT活用による職員の負担軽減・業務の省力化

あ と が き

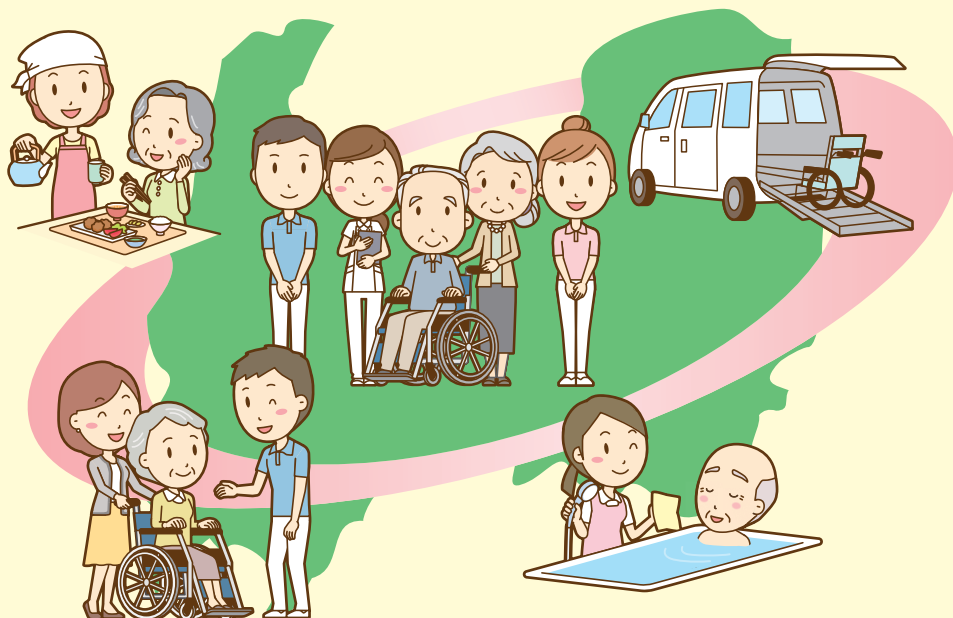
2000（H12）年4月に社会全体で高齢者介護を支える仕組みとして創設された介護保険制度はまもなく20年目を迎えようとしています。

富山県内で要介護（要支援）認定を受けている高齢者の数は、制度創設当初の2000（H12）年には22,000人余りであったのに対し、2017（H29）年度末現在では約61,000人と約2.7倍になっており、介護保険制度は着実に社会に定着してきました。

また、今後、高齢化がさらに進展し、「団塊の世代」が75歳以上となる2025年には、人口のおよそ3人に1人が高齢者となり、認知症の高齢者や、世帯主が高齢者の単独世帯・夫婦のみ世帯も増加していくと推計されています。その時、要介護認定者数も現在の約1.2倍となる約72,000人に増加し、介護職員は、現在より約5,000人多い約22,000人が必要になると見込まれています。

こうしたなか、県では、富山県高齢者保健福祉計画・第7期介護保健事業支援計画に基づき、市町村と連携して、介護保険制度の安定的な運営に努めるとともに、在宅医療の推進、認知症施策の推進など、地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組んでいるところです。

高齢者を取り巻く状況が大きく変わりつつある中、社会全体で高齢者の介護を支え合う介護保険制度を持続可能なものにしていくためには、より効果的・効率的で質の高い介護サービスの提供や、求められるサービスを提供するための人材確保・育成等が必要です。行政はじめすべての関係者が連携し、総合的・計画的に取り組んでいくことが求められます。



	2000年度	2017年度	2025年度（推計）
65歳以上要介護（支援）認定者数	22,757人	61,391人	約72,000人
65歳以上人口（割合）	232,733人 （20.8%）	330,450人 （31.6%）	336,829人 （33.8%）
65歳以上単独世帯（一般世帯に対する割合）	19,931世帯 （5.6%）	39,871世帯 （10.2%） （但し2015年度）	44,812世帯 （12.1%）
65歳以上夫婦のみ世帯（一般世帯に対する割合）	29,441世帯 （8.3%）	48,733世帯 （12.5%） （但し2015年度）	49,445世帯 （13.3%）
認知症高齢者数	約2.2万人 （但し2001年度）	約5万人 （但し2014年度）	約6.7万人
介護職員数	————	17,116人 （但し2016年度）	約22,000人

※要介護（支援）認定者数：（2000、2017年度）介護保険事業状況報告（厚生労働省）、
（2025年度）第7期富山県介護保険事業支援計画（保険者推計）

※65歳以上人口：（2000年度）国勢調査、
（2017年度）富山県人口移動調査、
（2025年度）「日本の地域別将来推計人口」（平成30（2018）年3月推計）

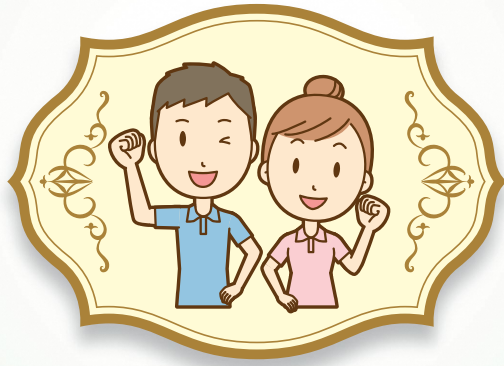
※65歳以上単独世帯、夫婦のみ世帯：（2000、2015年度）国勢調査、
（2025年度）「日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）」（平成26（2014）年4月推計）

※認知症高齢者数：（2001、2014年度）富山県認知症高齢者実態調査、
（2025年度）上記調査を元に富山大学が分析

※介護職員数：（2016年度）介護サービス施設・事業所調査（厚生労働省）を元に推計、
（2025年度）第7期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数（厚生労働省（平成30（2018）年5月））

平成31年3月発行

編集発行／富山県厚生部高齢福祉課
〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号
TEL 076-431-4111(代)



がんばる介護事業所表彰